

## 冬 76. めじまぐろ

ご存知ない方へ「めじまぐろ」は、クロマグロの幼魚名であって「めじまぐろ」なる魚種があるわけではない。クロマグロの国際的な資源管理の基準から「30kg未満」を小型魚、「30kg以上」を大型魚と定義、その小型魚を一般向けに分かりやすく「めじまぐろ」と表現しているだけであって、当局が「めじまぐろ」と命名したのではない。現世の

### クロマグロ(幼魚)



人々の誰もが知らない昔、誰かがその幼魚をそう名付け、連綿と継承され、広く伝播されている事実は存在しているが、なぜ「めじ」なのか知る由もない。

2013年、当時の水産庁次長が「安いからと言ってメジマグロを食べるのは、やめましょう」と発言された。資源保護の気持ちを汲むことはできるが、ならば、店頭に出さなければ良いし、ならば、漁獲しなければ良いし、ならば、漁獲できないようにすれば良いのではと気付かれた方も大勢いらっしゃるのではないか。その美味しさ・安さを知る一般消費者に「食べないで」はナンセンス。それでも、(定置網漁で)獲れてしまった対象を食べてあげないと殺生、往生できない。旬を冬としたのは漁獲が多いからで他意はない。近年、夏に漁獲が増えてきた。資源管理の効果なのか、そうであれば嬉しい限り。